教区新報 HONYOGO

発行所 浄土真宗本願寺派　兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
（本願寺神戸別院内）
電話 神戸（078）341－5949（代）
［編集］ 教区基推委広報部

2007.10 152号

各地で子どもの集い
サマースクール開催

7月23日（月）～25日（水）の3日間にわたって、兵庫教区少年連盟第44回サマースクールが赤穂を舞台に開催された。この度は「夏だ！海だ!!サマースクールin赤穂!!!」というテーマで催され、会所寺院には赤穂南組宝専寺西院（村上順照ご住職）が快く引き受けてくださった。参加の子どもたちは赤穂市内を中心に教区内各地より72名が集まった。

子ども達でにぎわう本堂

開会式では「阿弥陀さまの前でたくさんのお友達と仲良く元気に、色々な事を学んでください」と教務所長の挨拶があり、子どもたちも元気よく「はい！」と返事していた。見知らぬお友達が多く、最初は表情の固かった子もたくさんいたが、オリエンテーションで班ごとの目標を決めたり、班旗をみんなで作っていく中で次第に打ち解けていく様子が伺えた。初日の夕食は「カレーの鉄人」と題した班別カレーライス作りを開催。班の中でどんなカレーを作るのか、みんな楽しそうに話し合い、野菜を切る係、買い物に行く係、飾り付けをする係と役割分担をしながらどの班も本当においしそうなオリジナルカレーを作っていた。「いつもお母さんが作ってくれるカレーもおいしいけれど、自分たちで作ったのはなんだか特別だなぁ」と笑顔いっぱいにお代わりをしている子どもの姿がとても印象的だった。

二日目は海水浴にバーベキュー、キャンプファイヤーと子どもたちの楽しみにしているイベントが盛りだくさんの日程。朝から少し興奮気味の子ども達も多かったが、午前中はしっかりとお勤め「正信偈」の練習を行なった。指導するのは池本委員長をはじめ、サマースクールのスタッフの皆様。初めて正信偈を聞く子ども達も多かったが、飲み込みも非常に早く、暑い中スタッフ共々熱心に練習を行なっていた。

最終日には全国的にも「赤穂の塩」として有名な海浜公園「塩の国」にて塩作り体験を開催。海水から塩が出来るまでを学びながら自分たちでも塩を作らせてもらい、持ってかえっておにぎりを作った。最後にはみんなに来年の自分に

「家族の絆を強くするのに、仏壇はすばらしい効果をもたらす」と大阪大学名誉教授の加地伸行氏は言われる。正月、盆、彼岸、年忌法要などで家族、親戚縁者が仏壇の前に集まる、仏壇に向かって子供達と夕方今日一日の反省、感謝をし、嫁入りする娘との別れも仏壇の前でする。家族の通過儀礼には必ず仏壇があることで、家族が一つにまとまっていた。加地氏が、こういった日本の仏壇のすばらしさを欧米人の前で話された時、通訳が「仏壇」を「ホームチャーチ」と訳したそうです。聴衆はどよめき、加地氏もその名訳に気を良くして「どうだ」とばかりに胸を張られたと言われる。私達子供の頃には8割以上家庭に仏壇があった。田舎では保有率はもっと高かったと思うが、現在では、2軒の内1軒という調査結果が出ている。核家族化などで仏壇のない家が増えて来たということだと思いますが、仏壇は、暮らしと宗教が一体化しているシンボルと言える。仏壇のある暮らしを見直したい。　合掌

氷上西組　中尾　教雄

教区だより　11月・12月

11月
2日（金）
同朋運動部門会議　10:30～
企画常任委員会　13:30～
親鸞聖人750回大遠忌法要お待ち受け全寺院総代総参拝実行委員会　16:00～
3日（土）
別院第一土曜仏教講座　13:30～
6日（火）
門推幹事会　10:30～
基推教学伝道部門会議　14:00～
7日（水）
第32回近畿地区仏教婦人研修会　奈良にて
別院仏婦定例法座　講師：大西宝雲 師　13:30～
8日（木）
第1回連研のための研究会　10:30～
15日（木）
別院常例法座　講師：谷川弘顕 師　13:30～
16日（金）
別院常例法座　講師：谷川弘顕 師　13:30～
17日（土）
仏壮幹部一泊研修会　18日まで
18日（日）
第20回若婦人のつどい　10:50～
22日（木）
特法協勉強会　報恩講習礼　14:00～
24日（土）
まことの保育推進者研修会　13:30～
27日（火）
別院報恩講　29日まで

12月
1日（土）
別院第一土曜仏教講座　13:30～
門推の日100回記念式典
3日（月）
基推「新 あつい壁上映」　13:00～
4日（火）
布教団役員会　14:00～
8日（土）
仏青近畿ブロック研修会　津村別院　9日まで
13日（木）
第18期ビハーラ活動養成研修会　宝塚まどか園　14日まで

食事のことば啓発ポスター

先般、兵庫教区基幹運動推進委員会社会対応部会より、食事のことばを推進啓発するポスターが各寺院10部づつ発行された。

この度、その反響を受け教務所では「食事のことばポスター」を増版しましたので、門信徒にお配りするなどご入用の方は各組組長様までお申し込み下さい。

1部10円にて頒布

◆お問い合わせは
兵庫教区教務所まで
☎078（341）5949

職務が変わりました

平成十九年八月から兵庫教区教務所・神戸別院の職務分掌が変更になりましたのでお知らせいたします。

▽**松村彰道**＝所長・輪番、基推委会長、布教団団長
▽**尾井秀瑛**＝副輪番、別院寺務、別院責任役員・総代会、別院財産管理委員会・運営委員会、教化センター・別院運営関係、教区基幹運動運動推進委員会主幹、教区庶務関係主任、
▽**泉井文人**＝別院主幹、法務主任、別院法務、納骨永代経、責任役員・一乗会、特別法務員部会、勤式講習会、広報部会（教区報）
▽**萩嶺貴恒**＝別院主幹・教化センター関係、別院法務、別院会計、納骨永代経、責任役員・一乗会、土曜講座・門信徒の集い
▽**長尾　真**＝門信徒会運動部門、布教団、連研部会、連研講師育成部会、門徒推進連絡協議会、門徒総代会
▽**小野崇暁**＝組長会、教区会、賦課金関係事務、親鸞聖人750回大恩忌関係事務、教区会計、税務・諸保険関係事務、講社連盟
▽**山内理史**＝教区相談員、基推企画常任委員会、組基推委員会会長（組長）会、組相談員会議、組巡回、同朋運動部門、同朋講座、同朋講師育成研修部会、点検学習会、近同推・同兵宗連関係、矯正教化連盟、仏教壮年会連盟
▽**大岡周覚**＝教区会、組長会、選挙管理委員会、賦課金関係事務、親鸞聖人750回大恩忌関係事務、寺檀紛争関係、災害対策、青年僧侶の会、テレホン法話、都市開教対策、山陽放送ラジオ放送委員会、過疎対策
▽**稲岡義隆**＝教区会、組長会、願記事務、得度考査、寺檀紛争関係、災害対策、別院法務、別院仏教婦人会、仏前結婚式・初参式、団体参拝、中仏通信教育同窓会・学習会
▽**古屋淳臣**＝教学伝道部門、教化組織連絡会、キッズサンガ、保育連盟、少年連盟、仏教青年連盟、寺院子弟の研修、仏教壮年連盟
▽**日溪智美**＝社会対応部会、社推協、ビハーラ兵庫、仏教婦人会連盟、寺族婦人会連盟、教区会計、税務・諸保険関係事務、教区収状・出状事務
▽**森　弘誓**＝別院法務、センター会計・納骨及び永代納骨会計、本願寺江並教堂、愛生園・光明園関係、教区収状・出状事務
▽**川崎秀道**＝社会対応部会、蓮華会、仏教婦人会連盟、寺族婦人会連盟、本派スカウトクラブ
▽**岡橋大誠**＝別院法務、別院会計事務、別院仏壮、別院子ども会、モダン寺新聞、図書・カレンダー関係、視聴覚ライブラリー、前受・案内・別院美化・防災管理
▽**池田　燈**＝蓮華会、センター会計・納骨及び永代納骨会計、別院子ども会、モダン寺新聞、別院収状・出状、前受・案内・別院美化・防災管理

◇お詫びと訂正◇
前号「敬弔」の欄におきまして、藤谷俊雄氏（氷上東組如来寺前住職）の年齢標記に誤りがございましたので、お詫びと訂正を申しあげます。
誤…158歳
正…81歳

敬弔

藤畑　君子（阪神東組専念寺前坊守）6月17日、99歳で往生
松田　彰徳（神戸東組光顕寺住職）6月17日、73歳で往生
小田　周誠（阪神東組祐光寺住職）7月14日、78歳で往生
照戸　恭春（揖龍西組南正寺住職）7月19日、62歳で往生
藤　綾子（神戸湊組顯證寺前坊守）7月21日、88歳で往生
江林　義則（赤穂北組得乗寺住職）7月23日、71歳で往生
森田　智（播磨東組妙覚寺住職）8月10日、76歳で往生
清水　慈水（赤穂北組明福寺住職）8月11日、77歳で往生
井上　知子（阪神東組法専寺前坊守）8月13日、87歳で往生

※8月30日現在

宛てた手紙（感想文）を書き、事故も無くみんな元気に家路についた。

この度のサマースクールでは、スタッフも熱心にいろいろな情報交換を行なうことができた。宗門挙げての青少年教化行事「全寺院子どもの集い－キッズサンガー」開催にむけ、各組各寺院で子どもの集いを開催するにあたり、プログラムの進行やゲームの仕方、子どもたちへの指導方法など、若いスタッフがメモをとっている姿が見受けられた。このキッズサンガについて兵庫教区では各組より青少年教化推進員として「キッズサンガサポーター」が、また加えて仏壮・仏婦・総代会・門徒推進員の各教化団体より1名の委員も選出されており、キッズサンガ推進部会が設立された。すでに第1回目の研修も開催され、組においてのキッズサンガモデル事業も計画されており、次代を担う「人」育成に力をいれている。

それに先駆け、揖龍西組では神戸別院で、姫路中組では組内各寺院で開会式を行い法性寺を主会場として集い会を行なうなど、組を単位としたサマースクールも各地で開催された。

HO日誌

◆**6月10日**＝基推、第14期連研修了者大会、本願寺にて、今期は1，271人が修了した◆11日＝少年、第3ブロック指導者研修会、聞法会館にて、12日まで。各教区での指導方法など発表会を行なった◆12日＝第3回仏婦教区大会／青僧会、総会◆13日＝基推委、総会、副会長には小松勝昭氏（姫路西組浄福寺）・大西耕雲氏（宍粟組教専寺）、教学伝道部門代表は竹内俊之氏（揖龍東組浄蓮寺）、同朋運動部門代表は増井淨見氏（赤穂北組浄蓮寺）、門信徒会運動部門代表は近藤龍樹氏（加古川組普光寺）、社会対応部門代表は堀正昭氏（揖龍西組明正寺）が選出され、今年度の目標が話し合われた／組長ブロック長会◆14日＝蓮華会、理事会◆15日＝神戸別院永代経法要・開闡法要、講師は滋賀教区清徳寺・野瀬善隆師、16日まで◆18日＝常備会◆19日＝少年、役員会／サマースクールスタッフ会議◆21日＝矯正、大阪管区支部評議会、津村別院にて／青僧会、役員会◆22日＝組長会◆23日＝教区勤式指導所◆24日＝門推、総会／青僧会、役員会◆11日＝布教団、第3連区布教使研修会、12日まで◆13日＝保育、全国園長研修大会実行委員会◆15日＝別院常例法座、講師は姫路南組最勝寺・八木顕宣師、講題は「現生正定聚」16日まで◆16日＝17日＝組長・副組長・組相談員等合同研修会、ホテル日航姫路にて、18日まで◆18日＝ビハーラ、宝塚まどか園打ち合わせ◆19日＝社推協、中央協議会、本山にて◆19日＝勤式講師団役員会◆20日＝社推協、評議員常任委員会◆22日＝仏壮、阪神神戸ブロック研修会◆23日＝少年、第44回教区少年連盟サマースクール、赤穂南組宝専寺にて◆26日＝保育、全国保育研修大会、長崎にて27日まで／総代会、1泊研修会、神戸別院にて◆28日＝仏青、全国真宗青年の集い本願寺大会、龍谷大学深草学舎・本山にて29日まで◆29日＝仏壮、岡山ブロック研修会◆30日＝別院参拝、奈良教区仏教婦人会／大遠忌法要・大阪市における法要行事意見交換会、津村別院にて◆31日＝寺院子弟、第4回寺院子弟対象得度考査研修会、8月1日まで

◆**6月24日**＝教区勤式指導所番◆25日＝教区キッズサンガサポーター研修会、教区キッズサンガアドバイザーと各組より選出された青少年教化推進員が集まり「全寺院子どもの集い」キッズサンガ開催に向けての説明会、指導者研修会が開催された。指導講師には中央キッズサンガ推進員の松月博宣師、テーマは「あたりまえのお寺のすがた～子どもの声が聞こえるお寺～」。また、高橋格昭寺院活性化推進部長よりこの度のキッズサンガについての趣旨説明・質疑応答があった◆28日＝ビハーラ、役員会◆29日＝現生正定聚講師団研修会・教区僧侶研修会／仏婦、常任委員会◆30日＝教区勤式指導所

◆**7月3日**＝蓮華会、総会◆4日＝スカウト、仏教章授与式・総会◆5日＝別院参拝、京都教区下西組仏教婦人会◆6日＝第137回臨時教区会◆7日＝教区勤式指導所◆8日＝別院参拝、貞正寺仏教婦人会／仏壮、東播ブロック研修会◆9日＝少年、サマースクールスタッフ会議、赤穂南組宝専寺にて現地会議を開催。当日の行事や会場等の下見を行なった◆10日

教区指導員による勤式の講習

今回で「寺院子弟対象得度考査研修会」は4回目を向かえ、夏休み期間ということもあって高校生・大学生を中心に6名の参加があった。本研修会は1泊2日の合宿形式で行なわれ、教区勤式指導員からは作法やお勤めの指導をいただき、浄土真宗の基礎知識・歴史・教学の研鑽、基幹運動についての理解など、しっかりと学んでいただけるプログラムで実施している。スタッフも参加者と同年代の寺院子弟役員、仏青役員が中心となり、それぞれ得意分野で個別指導にあたり、参加者と一緒になって研修されている。ほとんどの参加者が自主的に午前3時過ぎまでスタッフとお勤めの練習をしていたのが非常に印象的だった。過密スケジュールだったため、参加者からは厳しい声が

野外で研修　楽しい一時をすごした

法話をいただいた。参拝者はお聴聞したあと、別院仏教婦人会有志による朝粥をいただき、「ありがたい一日の始まりに感謝ですね」と話していた。／仏婦、近畿ブロック大会打ち合わせ◆2日＝仏婦、常任委員会／別院、総儀式に関する研修会◆特別法務員協議会（総会）／都市開教、京阪神都市圏都市開教本部会議、津村別院にて◆4日＝第一土曜仏教講座、講師は平安高等学校教諭・毛利悠師、講題は「親になれない大人たち」◆6日＝ビハーラ、役員会／青僧会、役員会◆7日＝寺婦、近畿ブロック研修会連絡協議会／仏青、役員会◆11日＝別院参拝、第1仏光保育園職員互助会◆12日＝別院参拝、揖龍西組専法寺慈光会◆15日＝別院盂蘭盆会、講師は神戸別院松村彰道輪番◆18日＝教区勤式指導所◆20日＝仏青、野外活動研修会、湯の原オートキャンプ場にて22日まで、「自然に学ぶ」をテーマに、養父市湯の原・かんなべ高原にてキャンプを開催。ゴーカートや花火などアトラクションでは会員同士が交流を深め、今後の仏青活動について真剣に話し合った。◆22日＝揖龍西組サマースクール、別院を舞台に組においてサマースクールを開催。◆23日＝門推、幹事会◆24日＝矯正、幹事会◆25日＝ビハーラ、ふじの里夏祭り、今年は各地方で最高気温が出た猛暑。涼を求め、夏を楽しむため、各施設で、行事が行われた。ビハーラ活動施設では、神戸市社会保険老人保健施設で「納涼会」が8月17日（金）、ふじの里では「夏祭り」が8月25日（土）行われ、それぞれにビハーラ会員がお手伝い・介助等を通し、ふれあい交流をした。夏の行事は、ご家族の方・地域の方々の参加が多く、また入所者の方々にも行事を積極的に楽しんでほしいという気持ちから、通常活動より忙しく人手不足な面もあった。その中で、ふじの里では毎年恒例「たこ焼き」を出店しているが大人気で、今年も行列ができる程だった。その理由は、北摂組が組をあげて、仏婦・仏壮・ご住職方の心強い協力があったおかげ。今月、9月29日（土）うぐいす荘（神崎郡）にて「ふれあい交流会」、また他の施設での活動（介助・唱歌・お話他）を予定。ご関心をお持ちの方は事務局までご連絡ください。◆25日＝保育、東西真宗保育研修会、本派兵庫教区保育連盟と大谷派山陽保育協会によって開催されている合同研修会「東西真宗保育研修会」が、今年は本派担当にて姫路みのり保育園（網干組聖安寺）で開催。100名を超える保育士が「まことの保育」を研修した。基調講演講師には総局公室部長・榮俊英師をむかえ、「先生と呼ばれること」の講題でお話いただいた。実践研修では声楽家の昇高京子師にボイストレーニングと歌唱指導をいただいた。また、来年の6月には兵庫教区保育連盟担当にて「第21回全国園長研修大会」が開催することが決定。全国大会にむけ、教区内保育連盟の保育園・幼稚園が一致団結して企画・運営にあたることが確認されている。◆27日＝少年、役員会、サマースクールスタッフ反省会／常備会◆28日＝親鸞聖人750回大遠忌法要委員会◆29日＝青僧会、会員交流会、母と子の島にて30日まで◆30日＝布教団、基幹運動研修会

大行列となりました

昇高氏によるボイストレーニングの様子